

催しのご報告

生命誌
の日

小さな生きものたちの大きなお面をつくろう！ 本濃研太の段ボール彫刻ワークショップ☆

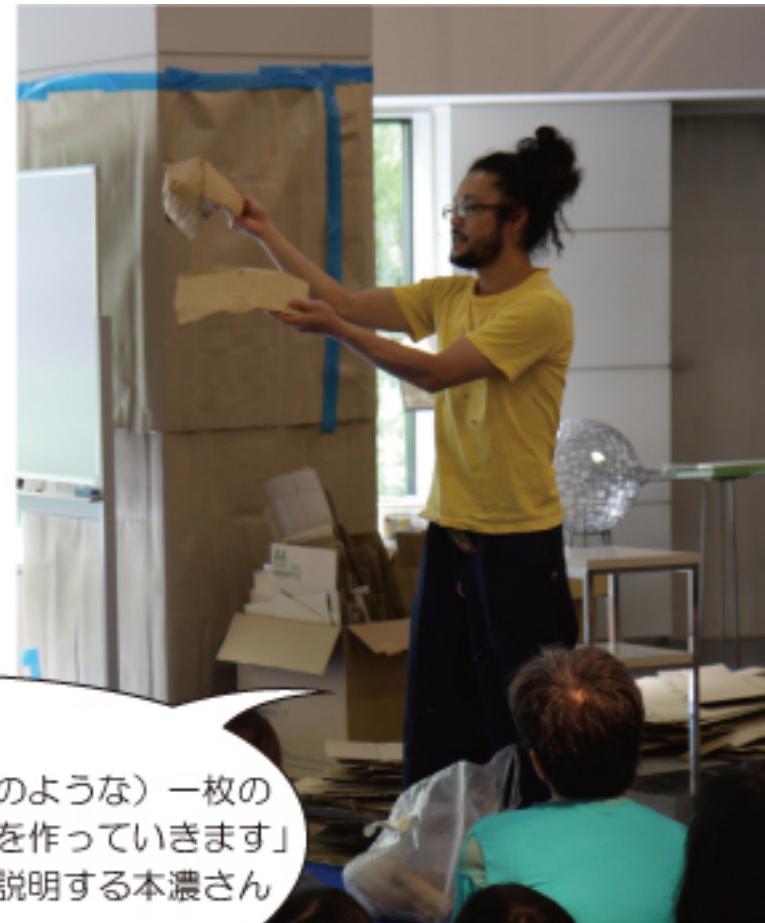
ハエとクモ、そしてヒトの祖先を知ろうラボ
有馬（表現を通して生きものを考えるセクター）

総勢 51 名の方にご参加いただき、誠にありがとうございました。イヌ、ネコをはじめ、アリやライオン、なんとシジミまで！個性豊かなお面ができあがりました。一生懸命に色を塗っている方、隣の方とお話ししながら作っている方など、みなさん思い思いに過ごされました。初の試みの段ボール彫刻ワークショップ、来場者もスタッフも楽しむことができて大成功でした。次回も楽しい催しを企画しています。ぜひ生命誌の催しに参加してください。

「何もないところから（生きものの）形ができるのが面白い」とクモの発生を研究する醍醐味を語る小田研究員



それを受けて、「（細胞シートのような）一枚の段ボールからこのように立体を作っていきます」と生きもののお面の作り方を説明する本濃さん





会場にはクモやナナフシなどたくさん
の生きものと顕微鏡を用意しました。



親子で協力しながら貼ったり、切ったり。



だんだん形がみえてきたね。



色を塗って。ライオンかな？



お面のできあがり！

CLOSE